

生いきいきバス通信

酒生地域コミュニティバス
運行協議会会報 第3号

発行:平成30年9月10日
酒生地域コミュニティバス運行協議会

いあーん

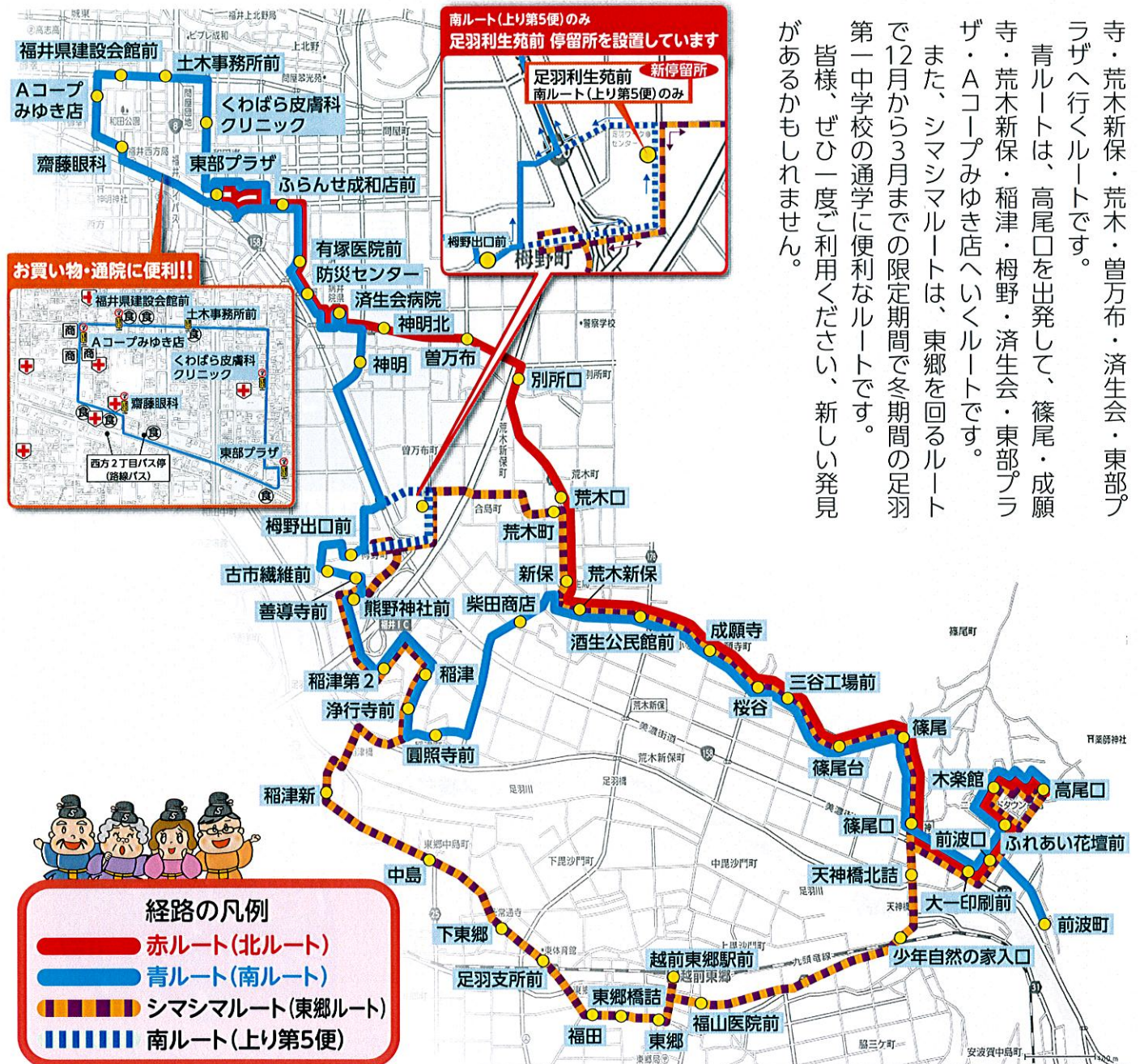
会長 田村 英司

日頃、酒生いきいきバスを利用していただきありがとうございます。昨年から、各集落の自治会長が運行協議会の幹事を兼ねることになり、いきいきバスにすれ違うたびに何人の人が乗っているか、非常に気になるようになりました。たくさんの人にいきいきバスを知っていただき、利用していただく為いろいろな活動をしています。また、いきいきバスで気がついた事などありましたら、気軽に自治会長に相談してください。

どのようなルートを走行しているか今一度確認していただきなおいっそうのご利用をお願いします。酒生いきいきバスの路線図を見ただくと赤ルートと青ルート及びシマシマルルートがあります。

赤ルートは、高尾口を出発して、篠尾・成願

寺・荒木新保・荒木・曾万布・済生会・東部プラザへ行くルートです。
青ルートは、高尾口を出発して、篠尾・成願寺・荒木新保・稲津・梅野・済生会・東部プラザ・Aコープみゆき店へいくルートです。
また、シマシマルルートは、東郷を回るルートで12月から3月までの限定期間で冬期間の足羽第一中学校の通学に便利なルートです。
皆様、ぜひ一度ご利用ください、新しい発見があるかもしれません。



地域のいきいきを運ぶ 私たちのオレンジバス

福井市を走るコミュニティバスには、「殿下かじかポッポー（殿下地域）」「ふくふく号（鷹巣・棗地域）」「日新さんさんバス（日新地域）」などユニークな名前の路線が多くあります。そんな中、「酒生いきいきバス」は、地域の方のいきいきとした暮らしを応援したいという想いを乗せて、今日も酒生地域を巡回しています。

高尾第一を中心にスタートしたこのコミュニティバスは、徐々に篠尾町、稲津町、荒木新保町の利用者が増えていて、今では地域にとつて欠かせない足となっています。運行開始当初から勤務している運転手さんによると、利用者は70～80代の女性が中心で、常連さんには90代の方もいらつしやるとのこと。平日午前の利用が多く、済生会病院や嶋田病院、ささじま歯科医院などへの通院後、バスの時間を待つ間に東部プラザに立ち寄ってちょっとした買い物を済ませて帰る、というルートが定番になっているそうです。



運転手さんとお話ししていると、高尾の○○さん、稲津の○○さん、と利用者の方のお名前が何人もあがってきます。通常の路線バスではお客さ

んのお名前、年齢、行動パターンなど詳しくわかるはずありません。単なる交通手段としての「行き行きバス」ではなく、乗客同士のおしゃべりや運転手さんとの会話、さらには車内に飾られた地元写真愛好家の方の作品（次はお子様を描いた絵でも面白いかも?）といったアットホームな雰囲気も含め、お馴染みの利用者にとつては生活を楽しく元気にさせる「活き活きバス」なのでしょう。



酒生地域を美しく撮影した写真が車内を飾ります。

運行を開始して8年目となりませんが、正直のところまだまだ利用が多いとは言えません。平日の午後や、特に木曜日は休診の病院が多いため乗客が少なくなるそうですし、土曜日にはご家族と自家用車でお出掛けの方も多く、利用者数は大きく下がるとのこと。遺跡祭りなど地域のイベントでの運行や、バスを使ったグループ活動への助成等を行っています。ただ、それだけではなく、もっと身近に利用してもらえるバスになったら良いなと思います。

（文責 川端）



車両の横側に描かれたキャラクターたちは、各地区の旗を掲げています。ナンバーは350！皆さん、お気づきでしたか？

バスのご紹介

オレンジ色で一見かわいい酒生バスですが、いったいどういうクルマなのか？以下にご紹介します。（文責 重田）

- 名前：日野「ポンチョ」
- 製造：日野自動車株「ヒノノニトン」CMの会社です
- 誕生年：平成28年
- 生誕地：石川県小松市串町工業団地30番地 ジェイ・バス株式会社小松工場（日野自動車株といすゞ自動車株が協同で作った会社で、いろいろなバスを作っています）
- サイズ：長さ6m30cm、幅2m08cm、高さ3m08cm
- エンジン：5,120cc ディーゼル 180馬力
- 変速機：5速AT
- 定員(座り)：10人
- 定員(立ち)：16人
- 価格：東京地区希望小売価格17,744,400円
(税込み、日野自動車ホームページより、標準価格であり実際の購入価格ではありません)

